

2024年度第1回教育検討委員会議事録

1 日時・場所

2024年5月25日（土） 16:00-18:02 幕張メッセ Hall 6 主催者室

2 参加者（敬称略）

（対面）市川、川村、田口、根本、南島、宮嶋、久利、津野、林、阿部國、中井咲、小荒井

（オンライン）西山、轡田、笹岡、山田、島津、阿部な、小俣、木村

（委任状）藤原、畠山、高清水、長谷川直、小田、西村、石内、堀、西、横尾、小西

（オブザーバー）飯田和也、丹羽、長谷川宏、高橋、前島

3 協議

（1）議長として宮嶋副委員長を選任し、会議の資格確認を行った。本委員34名のうち31名の参加（委任状を含む）を得たので、本会は成立した。

（2）議事に先だって、JpGU 非会員の傍聴について、発言なしのオブザーバーとして認めることを確認した。

（3）2023年度行事報告を本委員会・小委員会・WG より行った。

○教育検討委員会

・学術会議への協力として、3月3日に行われた学術会議地球惑星科学次世代育成成分科会への、高校地学教育の実情に関する話題提供を行った報告があった。（宮嶋委員）

・小中高教員のための地球惑星科学教育研修の実施に関して開講講座の紹介、収支決算、次年度以降の課題について報告があった。（市川委員）

・地理及び地学オリンピックの選抜状況（実施日、参加人数等）と国際大会での成績について報告があった。（宮嶋委員・代理）

・理数系学会教育問題連絡会運営委員会の会議内容について報告があった。（市川委員）

・JpGU 教育検討委員会 HP の更新履歴について報告があった。（市川委員）

○教育課程小委員会（宮嶋委員）

・小委員会を6回開催（91～96回）した。

・10月1日に高校「地学基礎」教科書における用語に関する研究集会－必ず学ぶべき用語等の統一に向けて－を開催した。

・防災教育小委員会と共催して、パブリックセッション「あなたは自然災害から生き残れますか？ 学校での学びで！」を開催した。

・全国地学教育関係者 Zoom 交流会を10回開催した。

○教育国際対応小委員会（山田委員）

・アースサイエンスウィーク・ジャパン2023 Nagano & Shizuoka の実施状況について報告があった。なお、若干の予算超過があり、追加予算を申請して承認され、予算執行したことが報告された。

○防災教育小委員会（林委員）

・教育課程小委員会と共催して、パブリックセッション「あなたは自然災害から生き残れますか？ 学校での学びで！」を開催した。

○教員養成等検討 WG（中井委員）

・活動の現状について報告があった。

(4) 2024年度役員の選出及び承認

本委員会及び各小委員会の委員長より、次期の役員について提案があり、提案のとおり承認された。

- 教育検討委員会 委員長：宮嶋委員（新） ※副委員長は後日提案
- 教育課程小委員会 委員長：岩田委員（新）、副委員長：飯田和也委員、田口委員、高橋委員（新）
- 教育国際対応小委員会 委員長：山田委員、副委員長：畠山委員
- 防災教育小委員会 委員長：林委員、副委員長：久利委員

なお、防災教育小委員会の委員の任期は2023年8月から2025年8月となっている。他の小委員会とタイミングを合わせるために委員の任期の調整も検討してゆく予定である。

- 教員養成等検討WG 世話人：中井咲委員、熊谷委員

(5) 2024年度行事計画

○教育検討委員会

- ・本委員会が申請した2024年度予算案について説明があり、後日の理事会で承認される見通しであることが報告され、承認された。(宮嶋委員)
- ・小中高教員のための地球惑星科学教員研修について、実施概要と担当講師の募集について報告があり、承認された。(市川委員)
- ・理数系学会教育問題連絡会規則の改定（運営役員の増員）案について概要が示され、改訂の詳細についてはJpGU選出の6人の委員に検討に一任することを確認した。(市川委員)

○教育課程小委員会

- ・昨年度行った高校地学基礎の用語問題について、さらに検討を進める方向性が考えられることが報告された。(宮嶋委員)

○教育国際対応小委員会

- ・昨年度と同様の内容を引き続き実施してゆく旨の報告があった。(山田委員)

○防災教育小委員会

- ・引き続きパブリックセッションを開催すると共に、次期学習指導要領の改訂に向けて、教育課程小委員会と連携を取りながら提言を出せるようにしてゆきたいとの報告があった。(林委員)

○教員養成等検討WG

- ・地学が生徒及び教員にとって面白いと感じられないのは、教える内容が面白くないからということに起因する負のスパイラルがある現状認識に基づき、魅力ある地学の内容作りを視野に入れて活動したいとの報告がなされた。(中井咲委員)

○その他

- ・AGU等の外国の教育系セクションとの連携については、教育国際対応小委員会で依頼したい旨の発言が阿部委員長よりなされたが、グローバル戦略委員会での対応が適切ではないかとの意見が出され、阿部委員長が連会上層部の意向を聞きながら、今後の対応を考えることを確認した。
- ・教育課程検討委員会及び各小委員会の規約並びに内規の見直しを行い、成文化しておく必要があるという発言がなされた。(阿部國委員)